

ステレオ投影図表示の高速化

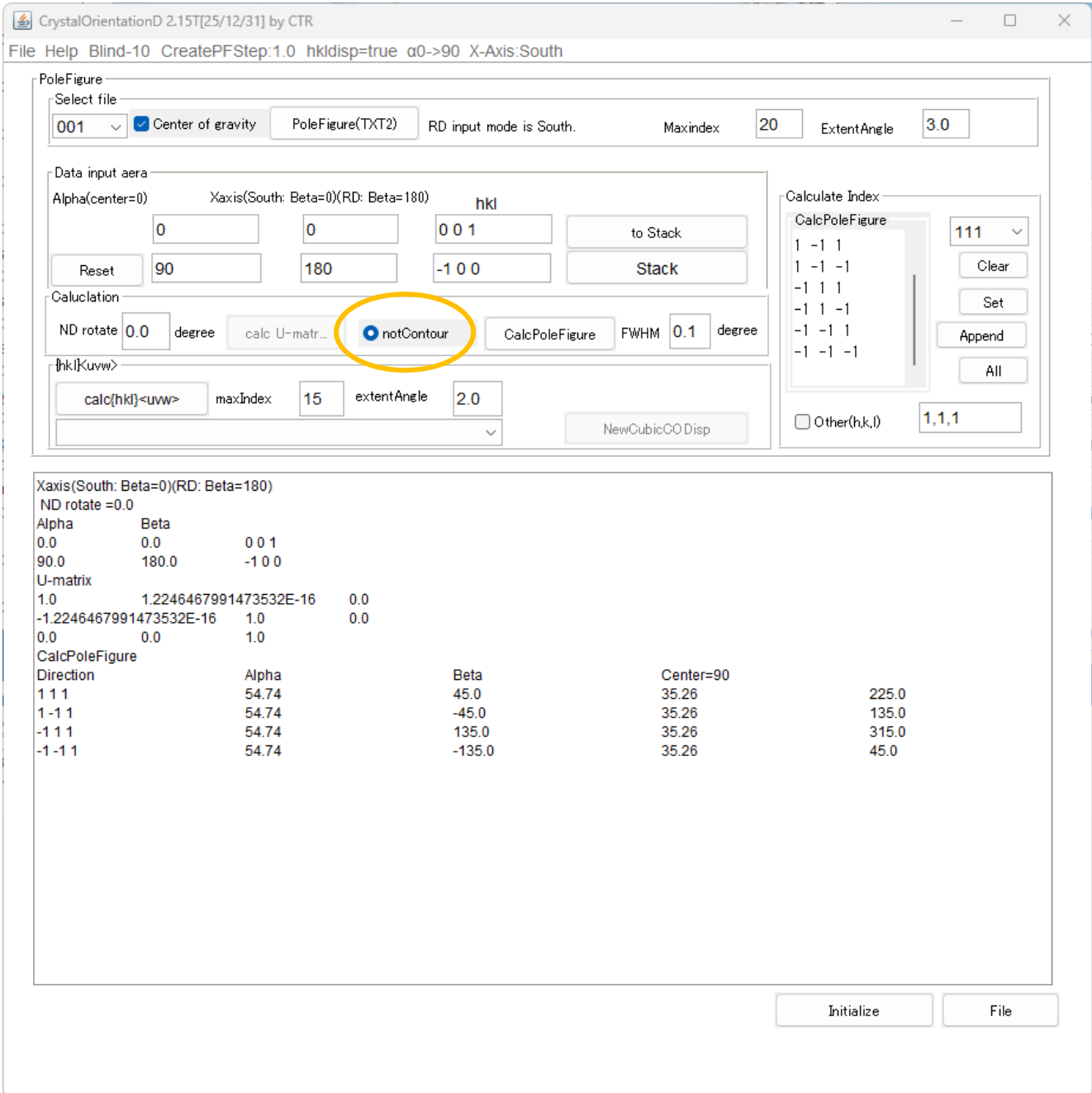
2025年01月22日

HelperTex Office

1. 概要

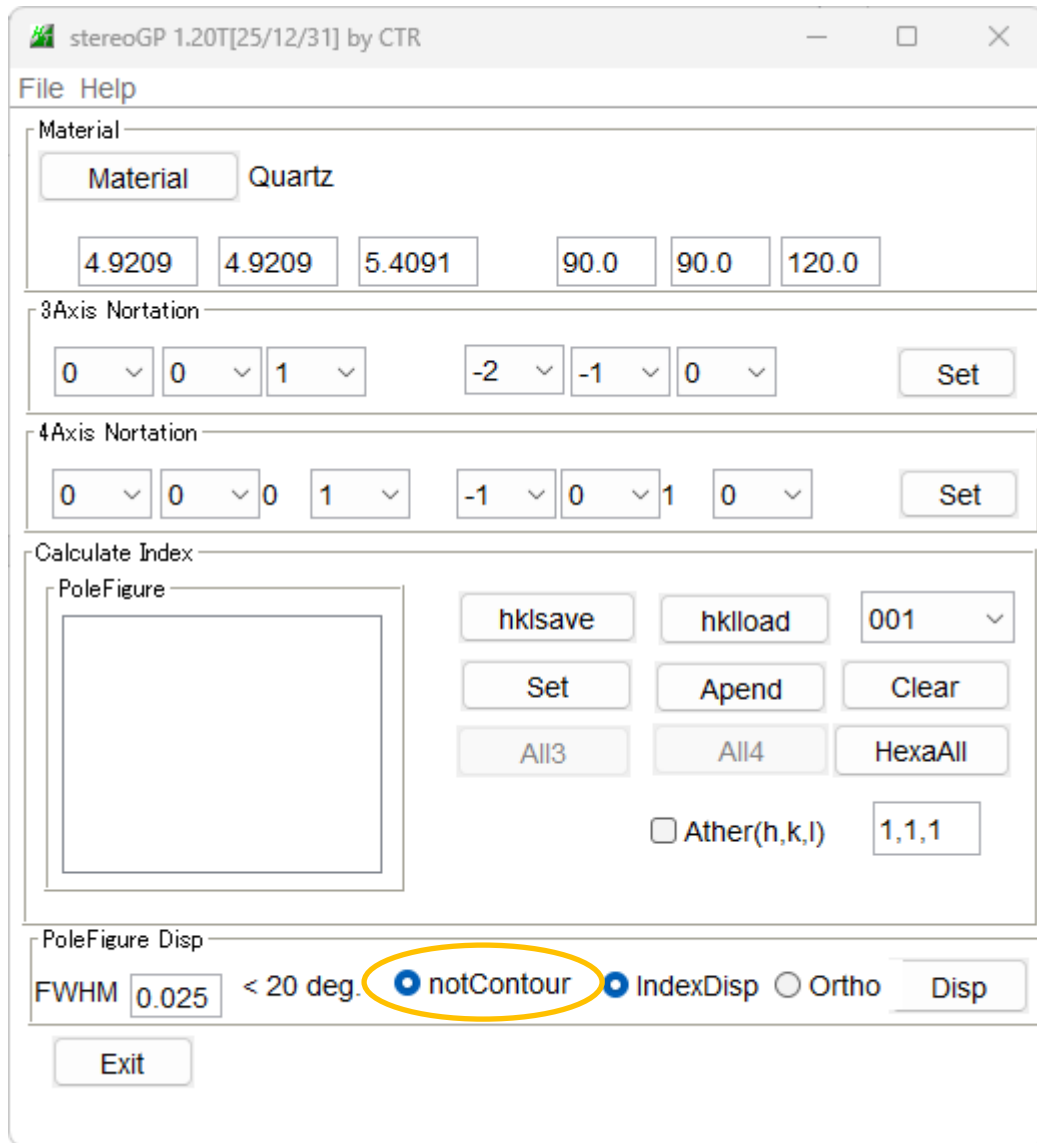
ステレオ投影図を行っているCrystalOrientationDソフトウェアとstereoGPソフトウェアでは、ステレオ投影用極点図にFWHMを指定し、本格的極点図ファイルを作成しているためスピードが遅い、この改良を行った。
等高線表示をドットに変更し高速化を行った。

2. CrystalOrientationDソフトウェア



notContourで等高線計算をせずに、極位置に最小の丸を描画

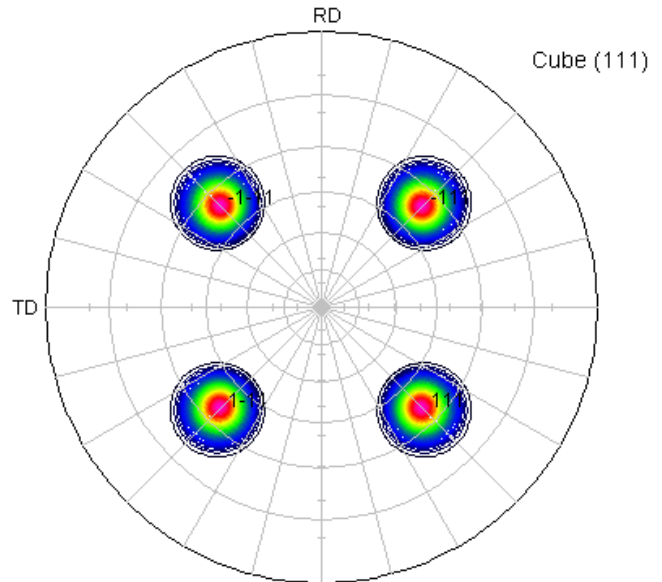
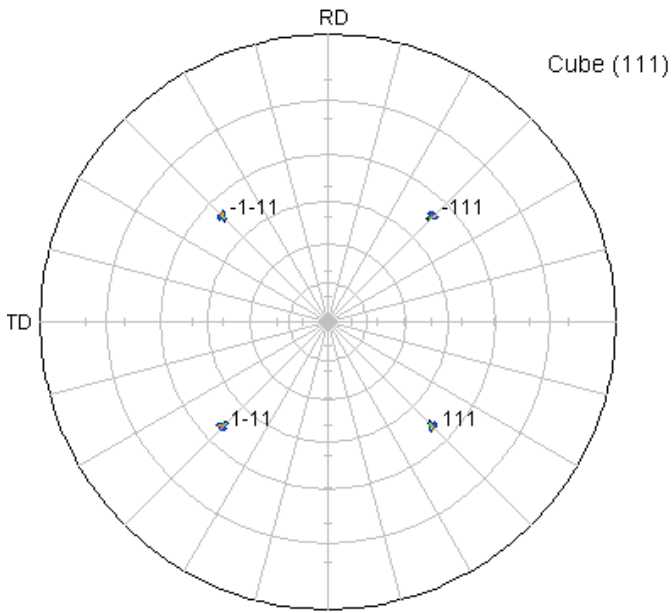
3. stereoGPソフトウェア



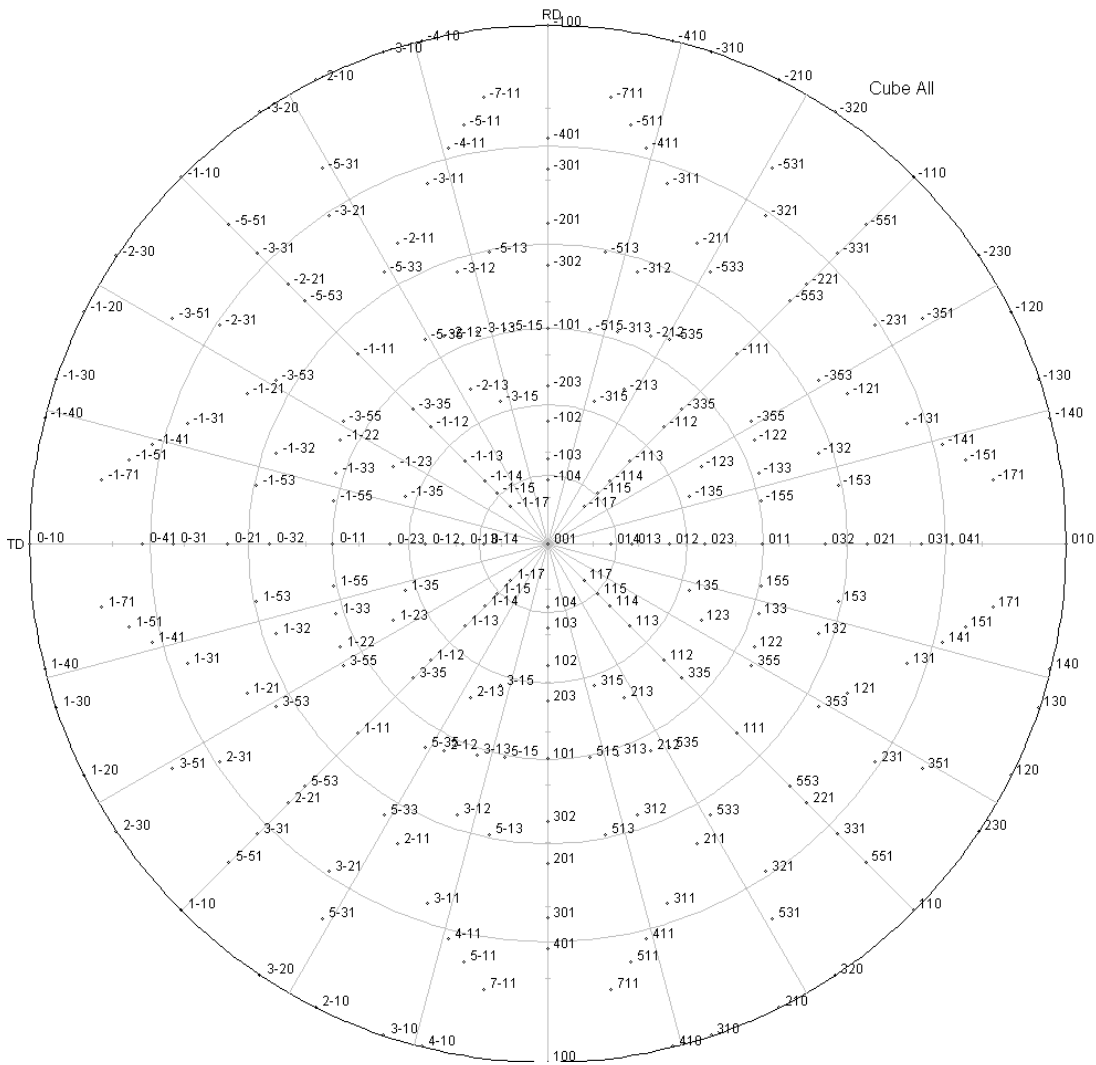
同様に、`notContour`で等高線計算をせずに、極位置に最小の丸を描画
指数表示は、キャラクタで表示、丸はグラフィックで表示しているため、画面の拡大で
指数表示は変化しないが、極位置を示す丸は変化します。

4. CrystalOrientationDソフトウェアによる表示

notContour CalcPoleFigure FWHM degree
 notContour CalcPoleFigure FWHM degree



notContour CalcPoleFigure FWHM degree 画面最大表示で切り取る



5. stereoGPソフトウェアによる表示

Polefigure Disp

FWHM 0.025

< 20 deg.

notContour

IndexDisp

Ortho

Polefigure Disp

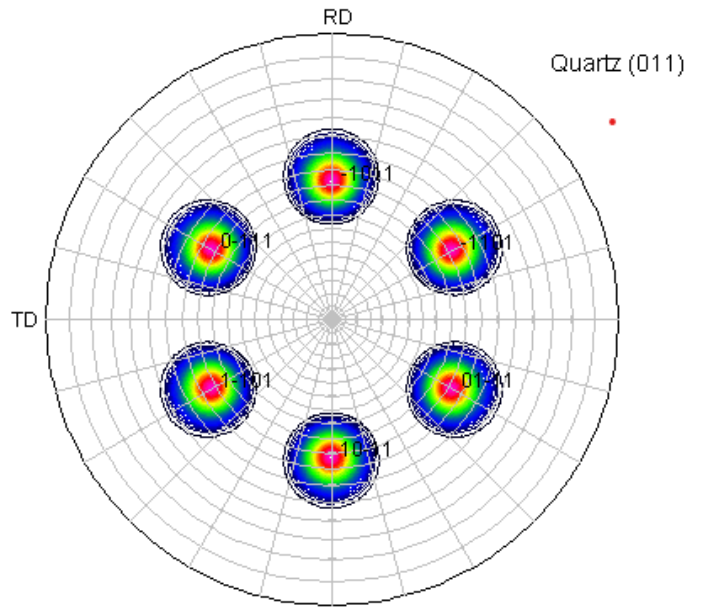
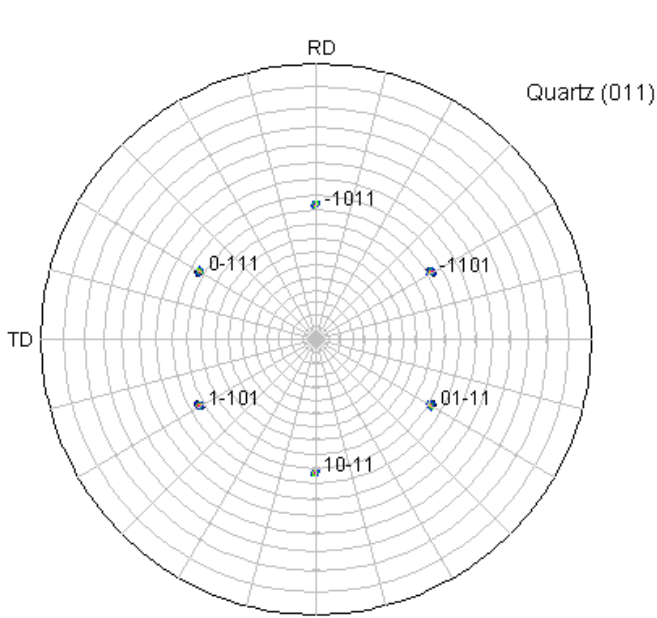
FWHM 5

> 20 deg.

notContour

IndexDisp

Ortho



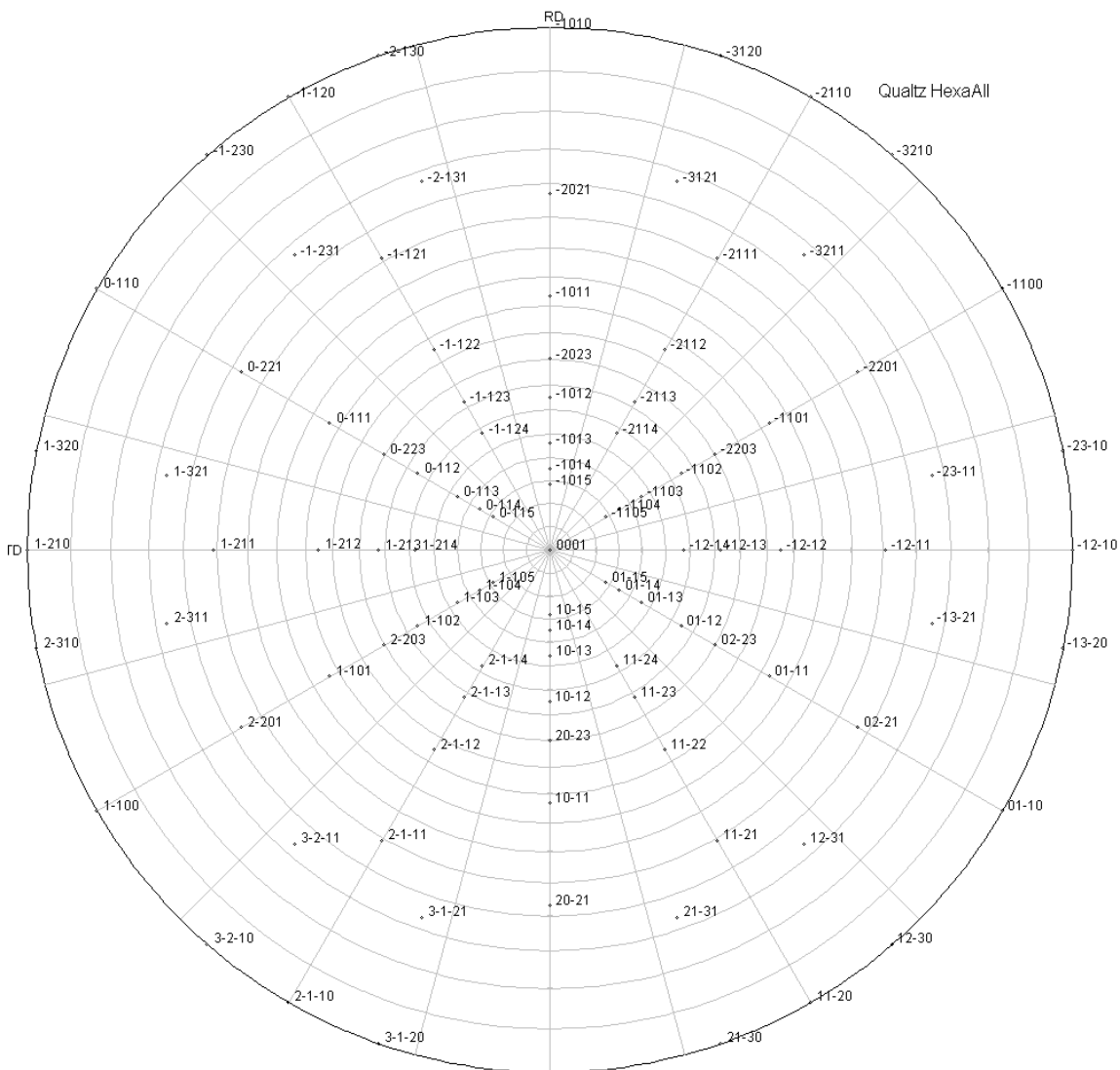
FWHM 5

< 20 deg.

notContour

IndexDisp

Ortho



高速化と方位の色分け

